

# 家畜衛生だより 令和6年6月号

紀北家畜保健衛生所

電話 073-462-0500

紀南家畜保健衛生所

電話 0739-47-0974

紀南家畜保健衛生所 東牟婁支所

電話 0735-58-1481

## 牛のアルボウイルス感染症による異常産について

アルボウイルス感染症は、蚊やヌカカ等の吸血昆虫によって、ヒトや家畜等に伝播するウイルス性疾患の総称です。吸血昆虫の行動が活発化する夏頃に妊娠牛がウイルスに感染すると、秋～春頃に異常産を引き起こします。

### アカバネ病 (届出伝染病)

成牛はほとんど症状を示しませんが、胎子に感染した場合、流産、早産、死産、先天異常子牛（脊柱や四肢の湾曲、大脳欠損等）の出産が起こります。

### アイノウイルス感染症 (届出伝染病)

アカバネ病と症状が類似しており、流産、早産、死産、先天異常子牛（脊柱や四肢の湾曲、大脳欠損、小脳形成不全等）の出産が起こります。

### チュウザン病 (届出伝染病)

先天異常子牛（虚弱、起立不能、大脳欠損、小脳形成不全等）の出産が起こります。アカバネ病やアイノウイルス感染症とは異なり、体形異常は認められません。

### ピートンウイルスによる異常産

体形異常（脊柱や四肢の湾曲等）を伴う死産や新生子牛の体形異常が見られます。近畿地方では、京都府で抗体保有牛が確認されたことから、ウイルス侵入があったと考えられています。

監視伝染病（家畜伝染病・届出伝染病）の発生状況は、以下の URL に掲載されています。

[https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/kansi\\_densen/kansi\\_densen.html](https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/kansi_densen/kansi_densen.html)



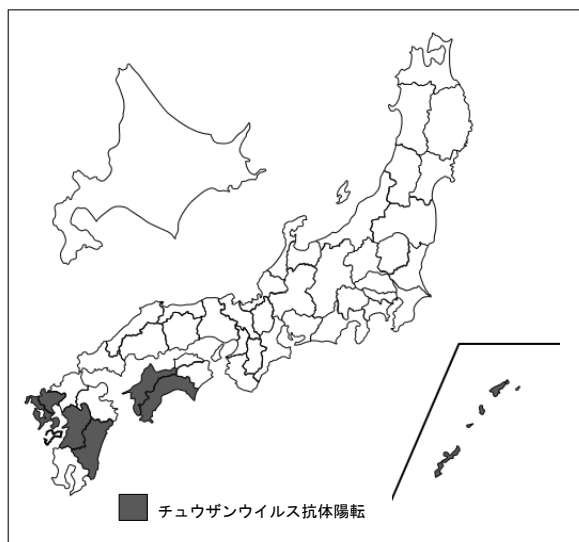
## ○ 牛のアルボウイルス感染症サーベイランスについて

アルボウイルスは、東アジア・東南アジア地域から夏期に発生する気流に乗ってやってくる、感染ヌカカにより国内に侵入していると考えられています。

アルボウイルスの国内侵入を早期に察知するため、全国的なサーベイランスを実施しています。

サーベイランスでは、毎年6月、8月、9月および11月の4回、おとり牛(吸血昆虫の活動する夏を経験していない牛)の抗体検査(主に、アカバネ・アイノ・チュウザンウイルス)を実施し、抗体の保有状況によりウイルスの侵入を把握しています。

## ○ 2023年度 サーベイランス結果



昨年度、和歌山県では、アルボウイルスの侵入は確認されませんでした。

左図の ■ に示す県で、チュウザンウイルスの抗体陽転が確認されました。アカバネウイルスとアイノウイルスの抗体陽転は、全国的に確認されませんでした。

これまでの牛アルボウイルス感染症サーベイランス実績については以下の URL に掲載されています。

<https://www.naro.go.jp/laboratory/niah/arbo/>



本年度、和歌山県では、アカバネ、アイノ、チュウザンウイルスに加えて、ピートンウイルスについても、おとり牛の抗体検査を行います。検査の対象となった子牛の採血にご協力をお願いします。

- アルボウイルス感染症は、吸血昆虫対策やワクチン接種による防除が有効です
- 流産・死産が続く、体形異常の子牛がみられる等あれば最寄りの家畜保健衛生所にご連絡ください